

平成 29 年の大阪経済

—大阪経済は緩やかな回復が続いた—

商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）は、府内の経済動向について四半期ごとに『おおさか経済の動き』としてとりまとめています。このたび、平成 29 年の年間の経済動向を『平成 29 年のおおさか経済の動き』として発行しました。その概要は以下のとおりです。

平成 29 年の大阪経済は、堅調に推移する世界景気の下で輸出の増加が続いた。内需は、住宅投資が低調であったが、消費が底堅く推移し、設備投資の復調もあり、緩やかな回復が持続した。生産は、年初には好調であったが、やや弱い動きとなった。完全失業率は低い水準で推移し、就業者数が増加するなど、雇用は堅調に推移した。

【目次】

要約

第 1 章 大阪経済は緩やかな回復が続いた

1. 国内経済は回復が続いた
2. 大阪経済は緩やかな回復が続く
3. 需要は堅調に推移
4. 生産が一進一退の動きの一方、雇用は堅調に推移
5. 企業活動は緩やかに持ち直し

第 2 章 平成 29 年の経済動向

第 1 節 輸出・設備投資が堅調に推移し、回復が持続

1. 個人消費は緩やかに増加している
2. 住宅投資は横ばい圏内の動き
3. 民間設備投資は回復
4. 輸出額は 2 年ぶりに増加
5. 観光は 29 年後半に日本人旅行者が息切れしたが、外国人旅行者が牽引

第 2 節 産業活動は底堅く推移

1. 生産活動は一進一退の動き
2. 雇用は改善傾向
3. 消費者物価は年末にかけてやや上昇、企業物価は上昇
4. 企業倒産件数は 8 年ぶりの増加

第 3 章 平成 29 年の企業動向

第 1 節 企業の業況は回復が続く

1. 企業の業況判断は回復が続く
2. 営業利益は緩やかに改善、資金繰りも緩やかな回復基調へ
3. 雇用不足感が引き続きみられる

第 2 節 中小企業の業況はゆるやかな回復基調から年末に顕著に改善

1. 出荷・売上高及び営業利益は持ち直しの動き
2. 受注・販売は一部に弱い動きがみられたが、概ね緩やかに回復した

主要経済指標